

中津市乳幼児教育振興プログラム（あそびのすすめ）

子どもたちを取り巻く環境

近年の核家族の増加や地域とのつながりが希薄になってきたことから、子育てに悩んでいる保護者も少なくありません。そのような中、子どもたちの生活は、泥んこ遊びや木登り等自然と関わる体験が減ってきたり、テレビやゲーム、スマートフォン等を使う一人遊びが増えたりと、人と関わりながら遊ぶ機会や場所はだんだんと失われてきつつあります。

しかし、子どもたちは遊びの中で、工夫したり考えたり、友達に思いを伝えたり思いに気づいたりすることを覚えていくのです。

遊びを通して豊かに育つ

門田 理世先生（西南学院大学教授）に専門部会や校内研修に参加してもらい、「乳幼児期における遊びの重要性」についての理解を深めました。

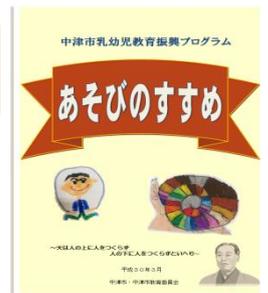
園長・小学校長・PTA・専門家等で「幼児教育・保育専門部会」を設置し、官民一体となって乳幼児教育のことを協議しました。

乳幼児教育施設の各要領・指針がH30.4から同時実施され、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」が示されました。

遊びを通して豊かに育ち、安心して子育てできる指針となる「中津市乳幼児教育振興プログラム」（あそびのすすめ）を策定！

ースローガン

やる気・げん気・自分の夢に向かう中津っ子



【具体的な取り組み】

1 遊びの重要性の理解と専門性の向上に向けての取り組み

(1) 保幼小連携に係る研修会

中津市内の保育所（園）・認定こども園・幼稚園の保育士・教諭・小学校教諭を対象に共通課題での実践発表や意見交換等を行い、専門性の向上を図ります。

(2) 各園・小学校内で子どもの実態に応じた関わりができていないか、振り返り、改善する等、研修を進めます。

2 円滑な接続に向けた取り組み（乳幼児教育と小学校教育との連携・接続）

(1) 中津市保幼小連携協議会等で、子どもの姿やお互いのカリキュラム等についての情報交換をし、カリキュラムの相互理解を深めます。

(2) アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムを改善しながら活用していきます。

〈カリキュラム・マネジメント〉

3 特別な支援が必要な子どもに対する総合的な支援

(1) 困りを感じた保護者が相談できる場をつくり、関係機関や関係課と連携し、早期発見・早期支援体制を推進します。

(2) 相談支援ファイル（あすなろ）を活用します。

【問合せ】中津市教育委員会
学校教育課 担当：山口
(TEL：0979-22-1111・内線 492)